

6 本時の学習（12時間予定 本時はその7）

（1）ねらい

献立発表会に向けて班で考えた献立を分かりやすく説明することができる。

（2）人権教育の視点

互いの発表の練習を聞き合い、よりよい発表の仕方を考えることができる。

（3）準備 学習ノート 掲示用資料（模造紙・画用紙） タイマー

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 本時の学習のめあてを知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は次時に向けて献立発表会の練習をすることを知らせる。 ・発表時間は5分とし、その中で自分たちの献立を十分にアピールする必要があることを知らせる。 ・発表の内容は自由とするが、作成した資料を有効に使うよう指示する。 ・各班に一つずつクッキングタイマーを配布し、声の大きさに留意し練習するようにさせる。 ・タイマー係や発表分担を決めて練習するとよいことを知らせ、協力し活動させる。 	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 発表会の練習をする。	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに場所を確保し、練習を開始させる。 ・交代しながら実際に黒板に資料を掲示しながら発表練習してもよいことを知らせる。 なるべく班員全員が発表できる場面を設けるように助言する。 ・時間を意識し練習できるようにする。時間が短かすぎる班は、早口にならないようにすることと他の班に自分たちの献立の良いところを伝えられるよう考えさせる。 ・発表するときの態度にも気を付けられるように指導する。 机間巡視をしながら各班の良いところや個人のがんばりを認め、賞賛するようにする。 	自分たちの考えた献立の良い点を意識し、分かりやすく発表することができる。 （観察） 自分たちの献立の内容を説明することができる。
3 本時のまとめと次時の予告をする。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに片付けを済ませ、着席させる。 ・机間巡視をした中で各班の良いところや個人やがんばりを紹介する。 ・次時は、献立発表会を行うので、準備が間に合わない点は班ごとに休み時間等を使って用意させるようにする。また、掲示しやすいように掲示の順番や磁石を使った黒板掲示の仕方など準備を行うよう指示しておく。 ・班長に献立発表の順番を決めさせ、確認しておく。 	（観察）